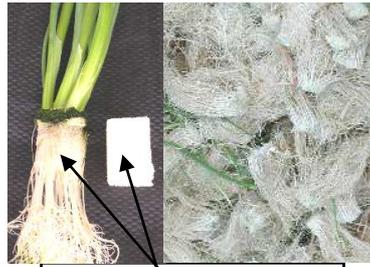


「水耕ネギの培地廃棄量ゼロと省力・多収・低コスト化技術」

問題点

- ウレタン培地の廃棄蓄積量が多い。
4.4m³/10a/年（6作）
- 通路を移動しながら1株ずつ定植・収穫作業を行うため、効率が悪い。
- 単価の下落により、収益が悪化している。

平成	10年	11年	12年	13年	14年
単価（円/kg）	768	653	538	611	552
所得（万円/10a）	387	235	83	180	102



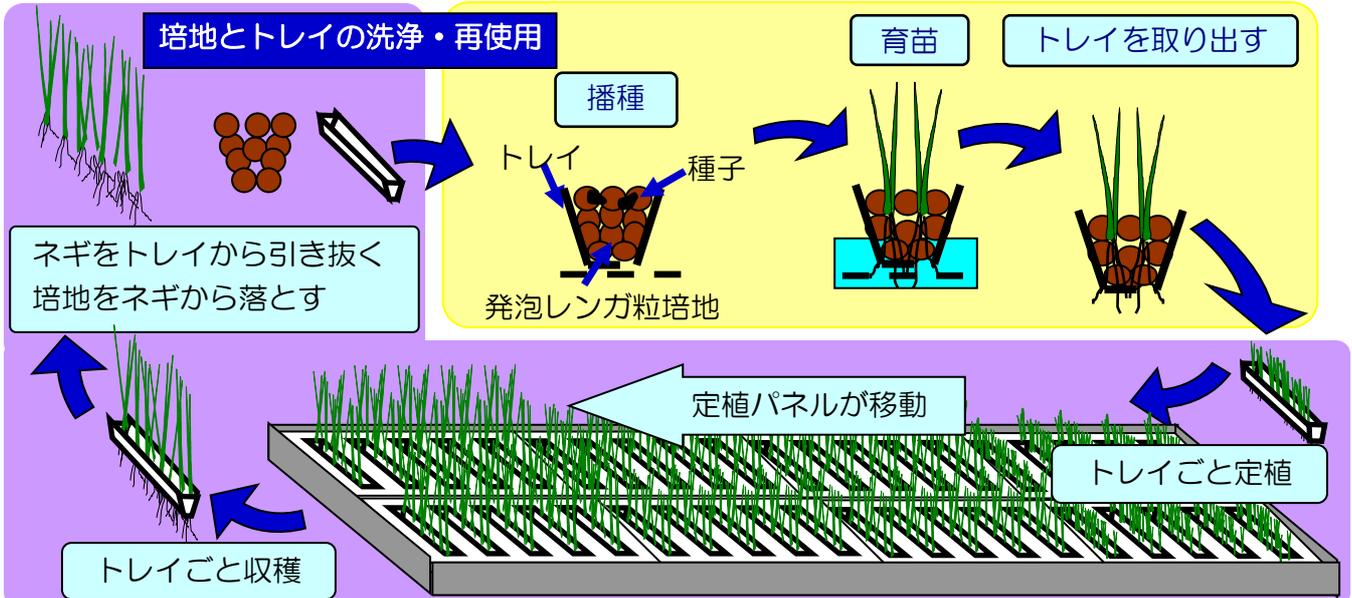
ウレタン培地と
廃棄残さ



ウレタン培地ごと1ブロック
ずつちぎって定植穴に定植し、
培地ごと収穫する。

研究概要

培地廃棄量ゼロと省力・低コスト化を目指す育苗法の開発



人間工学に基づいた栽培管理器具（定植パネル連結器具・倒伏防止器具・収穫作業台）の開発

栽植密度と栽培環境の最適化（CO₂施用法・養液管理法）による多収技術の開発

試作しているトレイと培地と栽培状況



試作品のトレイ

培地は、粒径4~8mmの
発泡レンガ粒



定植時の苗の状況



トレイ

ウレタン

収穫時の状況

共同研究機関：広島県立東部工業技術センター・高知大学・株式会社あべダンボール